

はじめに

私たちは、若者支援を推進する若者応援隊「まなざし」、一般社団法人サポートネットゆっか、知多市社会福祉協議会の三者で構成している知多市若者未来応援事業実行委員会です。

この文集を作成したきっかけは、「若者サポート進路を考える会」に参加した不登校体験談の発表者の方から、「当日来場される方には、私たちの体験を伝えることができません。しかし、なかには来場したくてもできない方もきつというはずですよ。そんな方にこそ、伝える努力や工夫が必要ではないでしょうか」という提案からでした。

進路説明会で発表してくださった方の体験談に加えて、保護者の方からの体験談、また、自分の体験を同じつらさを抱えている人に伝えたいと、原稿を書いてくださった方の分も、新たに付け加えさせていただきました。

彼ら彼女たちが、なぜ、学校に行かないという選択をしたのか。どんなことに悩

み苦しんでいたのか。そして、その苦悩と葛藤の日々からどうやって少しの光を見つけることができたのか。これらのことを自分自身の言葉で語りかけてくれていきます。そして、皆さん共通してこんなことを語ってくれています。

「今は苦しいかもしれないけど、必要な時間であった」と…

不登校やひきこもったことを決して恥じるのではなく、貴重な体験として、人間として成長していくための財産として振り返っています。

文集では、すでに学校を卒業し、働いている方もいれば、今学校に通っている方もいます。また、今もなお不安や悩みを背負っている方もおられます。

この文集で語ってくれた一人一人のメッセージが、同じような境遇にある方の勇気と力になれば幸いです。

最後に、この文集に協力してくださった二十四名の方々に感謝申し上げます。

知多市若者未来応援事業実行委員会